

或る殺人 (1959)

ANATOMY OF A MURDER

メディア 映画

ジャンル サスペンス ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 160分

初公開日 1959/11/14

公開情報 C O L

【解説】

R・トレイバーのベストセラー小説（原題は“殺人解剖学”で邦題は『錯乱』）の映画化。弁護士ビーグラ（スチュワート）は検事を辞職し、弁護士を開業したが閑古鳥で秘書にも給料を払えない。ある晩、釣りから帰ると、親友のアル中弁護士（A・オConnellが好演）が待ちかまえ、彼の読み通り、昨日起きた殺人事件の犯人の妻から弁護の依頼があった。夫の陸軍中尉マニオンは、妻ローラをレイプしたという知人バーニーを射殺したのだ。検察は、蓮っ葉なローラがバーニーと不倫関係にあったと主張し、切れ者の州公訴局長ダンサー（スコット）がビーグラの前に立ちはだかるが、彼らは素早く状況証拠と証人を確保し、レイプの事実を立証する。被告人夫婦のギャザラとレミックがいかにも若く不良っぽく、本当は彼らが下手人ではないかーという興味で引っ張るが、法廷ものとしたのは中の中の出来。音楽はD・エリントンで、彼とジミーがクラブで連弾する楽しい一景もある、プレミンジャー監督らしくテーマ的には野心の窺える作品だ。

【クレジット】

監督	オットー・プレミンジャー	Otto Preminger	
製作	オットー・プレミンジャー	Otto Preminger	
原作	ロバート・トレイバー	Robert Traver	
脚本	ウェンデル・メイズ	Wendell Mayes	
撮影	サム・リーヴィット	Sam Leavitt	
音楽	デューク・エリントン	Duke Ellington	
タイトルデザイン	ソウル・バス	Saul Bass	
出演	ジェームズ・スチュワート	James Stewart	ビーグラ
	リー・レミック	Lee Remick	ローラ
	ベン・ギャザラ	Ben Gazzara	マニオン
	ジョージ・C・スコット	George C. Scott	ダンサー
	アーサー・オConnell	Arthur O'Connell	
	キャスリン・グラント	Kathryn Grant	
	ジョセフ・N・ウェルチ	Joseph N. Welch	
	イヴ・アーデン	Eve Arden	
	オーソン・ビーン	Orson Bean	